

THE 7TH 21ST CENTURY

まちと
ミュージアムが
織りなす
文化

ミュージアムを取り巻く環境は以前にも増して厳しいが、近年、日本の各地域において、住民主体のアートプロジェクトが各地で数多く生まれている。いまや、寺社とまつりから地域の文化的・社会的機能を代替しつつあるミュージアムとアートプロジェクトは、世代間交流や社会包摂を促しながら、2020年東京オリンピック・パラリンピックの文化的・社会的基盤にもなり得よう。今回のサミットは、歴史軸に沿って、日本各地のまちとミュージアムの関係性を捉え直すとともに、その視点から空間軸におけるアートイベントとの「プラットフォーム」の可能性を考えたい。

MUSEUM

過去から未来へ

日時 2016年2月27日[土] — 2月28日[日]
会場 湘南国際村センター[神奈川県葉山町]

地域に根付く文化のプラットフォーム

東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラム

オリンピックの文化プログラムと地域の動きをどう連動させるのか

ミュージアム・サミットから未来に向けたメッセージ

- ラス・ニッティヴ [香港「M+」館長]
 李龍雨 [上海ヒマラヤ美術館館長、国際ビエンナーレ協会会長]
 青木保 [国立新美術館館長]
 高階秀爾 [大原美術館館長]
 蓑豊 [兵庫県立美術館館長]
 建畠哲 [埼玉県立近代美術館館長]
 水沢勉 [神奈川県立近代美術館館長]
 塚田美紀 [世田谷美術館主任学芸員]
 安部沙耶香 [平塚市美術館学芸員]
 栗原祐司 [東京国立博物館総務部長]
 太下義之 [三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター長]
 山出淳也 [NPO法人 BEPPU PROJECT代表理事/アーティスト]
 中村政人 [アーツ千代田3331統括ディレクター]
 拜戸雅彦 [あいちトリエンナーレ2016チーフ・キュレーター]
 住友文彦 [アーツ前橋館長]
 藤浩志 [十和田市現代美術館館長]
 清水有 [せんだいメディアテーク学芸員]
 遊免寛子 [兵庫県立美術館学芸員]

参加費 一般3,000円、学生1,500円 定員 80名

歴史軸から見たミュージアムと地域社会

都市の再生と文化の役割、社会の中でのミュージアム

美術館は地域社会とどう向き合ってきたのか
大原美術館と倉敷
神奈川県立近代美術館と鎌倉

第7回 21世紀ミュージアム・サミット THE 7TH 21ST CENTURY MUSEUM SUMMIT

まちとミュージアムが織りなす文化 ～過去から未来へ～

1日目は海外で注目される文化による都市再生の事例や、日本の代表的な美術館2館のあゆみを通して、ミュージアムがそれぞれの背景と期待を背負いながら地域社会の文化創造において果たした役割を歴史軸から振り返る。2日目は2020年東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを視野に、地域におけるミュージアムやアートプロジェクトによる「プラットフォーム」の課題や可能性について検討していく。

2016年2月27日[土]

歴史軸から見たミュージアムと地域社会

10:00～12:20

主催者挨拶:高橋忠生[(公財)かながわ国際交流財団理事長]

《趣旨説明》司会:蓑 豊

《基調講演》

「都市の再生と文化の役割～社会の中でのミュージアム」

ラース・ニッティヴ[香港「M+」館長]

李 龍雨[上海ヒマラヤ美術館館長、国際ビエンナーレ協会会長]

13:30～15:50

《講演》「美術館は地域社会とどう向き合ってきたのか」

「大原美術館と倉敷」高階秀爾

「神奈川県立近代美術館と鎌倉」水沢 勉

15:50～16:20 コーヒーブレイク

16:20～18:00

《ワールド・カフェ》

ファシリテーター:塚田美紀[世田谷美術館主任学芸員]

安部沙耶香[平塚市美術館学芸員]

*ワールド・カフェ:4～5名が1つのテーブルに座り、オープンに会話をする中で、お互いの想いを共有したり、知識・知恵を創発して理解を深めます。

18:30～ レセプション

【公式ホームページ】 <http://www.kifjp.org/ace/museum>

【申込方法】(申込多数の場合は抽選となります)

受付専用フォーム <https://shonan-village.co.jp/ms2016/>

に必要事項をご記入の上お申し込みください。

※インターネットをお使いにならない方は、「お名前」「住所」「電話番号」「FAX番号」をご記載の上、FAXにてお送りください。FAX: 046-858-1210

申込締切:2016年2月5日[金]

※参加の可否はメールかFAXでお知らせします。

【会場・湘南国際村センターへのアクセス】

JR逗子駅、京急新逗子駅、京急汐入駅よりバスで約25分

詳しくはこちら → <http://www.kifjp.org/access>

【問い合わせ】

(公財)かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター (担当:菅沼・野呂田)

〒240-0198 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39

TEL: 046-855-1821 FAX: 046-858-1210

E-mail: msummit@kifjp.org



2016年2月28日[日]

地域に根付く文化のプラットフォーム

10:00～10:10

《オリエンテーション》司会:栗原祐司[東京国立博物館総務部長]

10:10～10:30

《報告》「2020年東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラム」

太下義之[三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター長]

10:30～12:00

《対談》「2020年東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムと地域の動きをどう連動させるのか」

青木 保[国立新美術館館長] / 建島 哲

13:00～16:00

《事例報告&パネルディスカッション》

「まちとミュージアムが織りなす文化～地域における文化的協働が活性化するには～」

13:00～14:50

《事例報告》司会:高階秀爾

・「BEPPU PROJECTの活動について」

山出淳也[NPO法人BEPPU PROJECT代表理事/アーティスト]

・「アート×産業×コミュニティ 街が創造的になる場」

中村政人[アーツ千代田3331統括ディレクター]

・「あいちトリエンナーレ」

坪戸雅彦[あいちトリエンナーレ2016チーフ・キュレーター]

・「アーツ前橋と地域の関わり」

住友文彦[アーツ前橋館長]

14:50～15:00 コーヒーブレイク

15:00～16:00 《パネルディスカッション》

ファシリテーター:藤 浩志[十和田市現代美術館館長]

安部沙耶香

清水 有[せんだいメディアテーク学芸員]

塚田美紀

遊免寛子[兵庫県立美術館学芸員]

16:00～16:15 コーヒーブレイク

16:15～17:45

《総括討論》「ミュージアム・サミットから未来に向けたメッセージ」

モデレーター:水沢 勉

パネリスト:青木 保、高階秀爾、建島 哲、蓑 豊

※プログラムや登壇者は都合により変更となる場合があります。

※当日の様子はUstreamでのネット配信を予定しています。